

第81回マチコミリサーチ 『休校中はどうだった？お子さまの自宅学習について』

ドリームエリア株式会社は、無料の緊急連絡網ツール『マチコミメール』を利用している保護者の方々を対象に、『休校中はどうだった？お子さまの自宅学習について』のアンケートを実施いたしました。

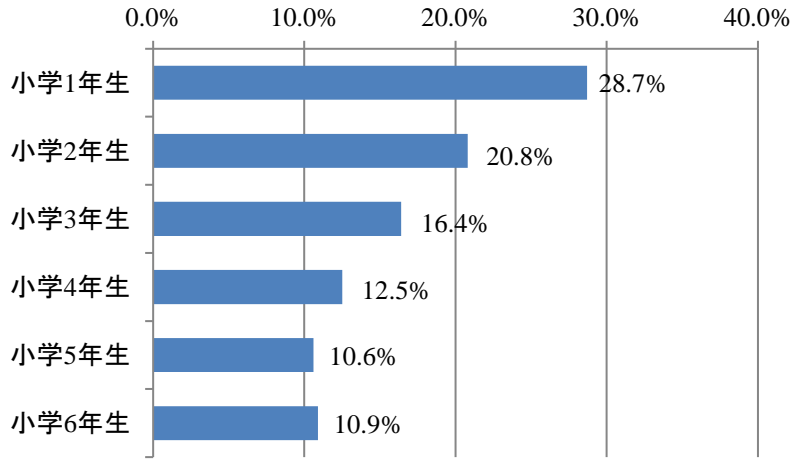
<調査概要>

調査期間	2020年7月2日(木)～7月7日(火)
調査方法	携帯サイト上のアンケートフォームにて回答
調査対象	全国の小学校のマチコミメール会員
調査対象数	971,156名
有効回答数	26,841件

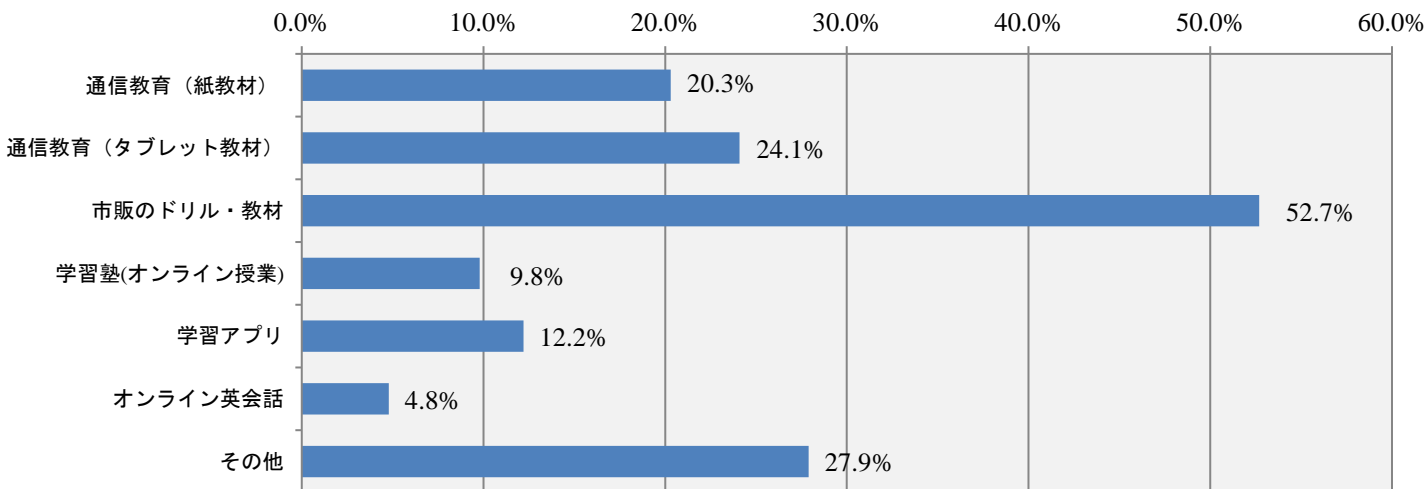
<質問項目>

1	お子さまの学年は？※複数のお子さまがいる方は一番下の学年をお答えください。
2	休校中に取り組んだ学習手段はありますか？(複数回答)
3	それらの学習手段は休校前から取り組んでいましたか？
4	休校中、お子さまが積極的に取り組んだ教科は何ですか？(複数回答)
5	休校中、自宅での学習に苦勞した教科は何ですか？(複数回答)
6	休校中の1日あたりの学習時間は？
7	休校中、Web上で無償公開されている教材や動画を利用しましたか？
8	休校中の自宅学習において、お子さまが意欲的に学習に取り組めるように工夫したことがあれば教えてください。
9	お子さまが校外学習で使用するツールとして魅力を感じるものは何ですか？

質問1: お子さまの学年は? ※複数のお子さまがいる方は一番下の学年をお答えください。

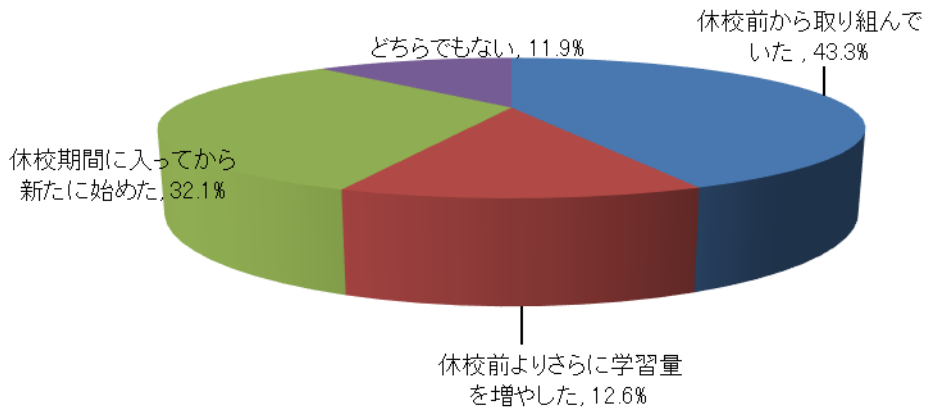


質問2: 休校中に取り組んだ学習手段はありますか? (複数回答)



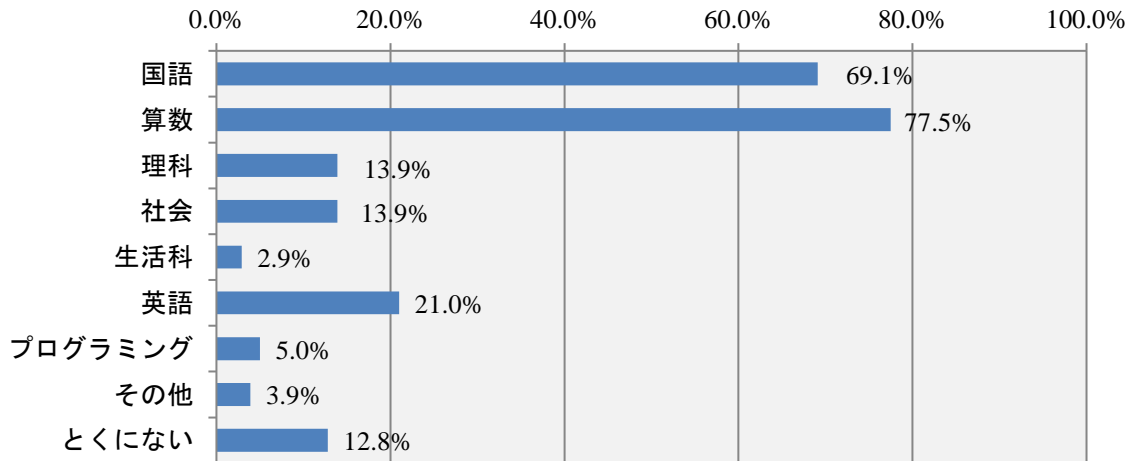
「市販のドリル・教材」が一番多い結果となり、次いで「通信教育 (タブレット教材)」「通信教育 (紙教材)」という順になりました。タブレット教材やオンライン教材も続々と出てきている印象ですが、普段から馴染みのある市販の教材は親子ともに安心感があるようで、根強い人気うかがえます。

質問3: それらの学習手段は休校前から取り組んでいましたか？



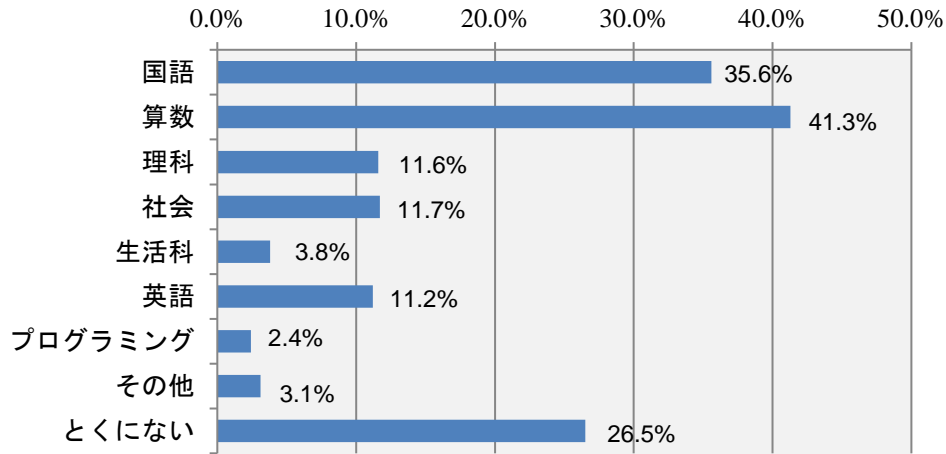
質問2で回答された教材を休校前から取り組んでいた、との回答が4割を超えました。日常的に学校以外の教材を使用して学習をする習慣付けがされているのですね。休校期間に入ってから新たに教材を使用しはじめたご家庭は3割ほどの結果に。自宅学習の環境を整えるため、いろいろと教材を探された方も多いようです。

質問4: 休校中、お子さまが積極的に取り組んだ教科は何ですか？(複数回答)



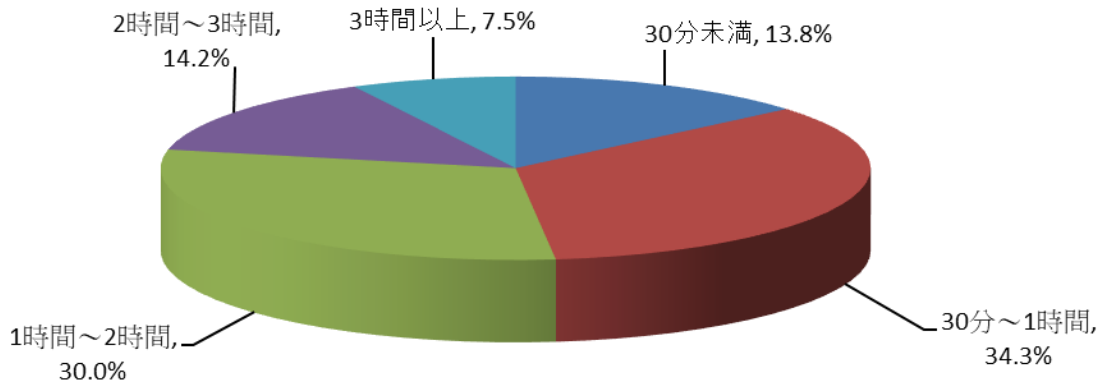
積極的に取り組んだ教科は多い順に「算数」「国語」「英語」となりました。学習の基礎である数や言語の学習に積極的に取り組んでいる様子がわかります。毎日の積み重ねが大事ですね。

質問5: 休校中、自宅での学習に苦勞した教科は何ですか？(複数回答)



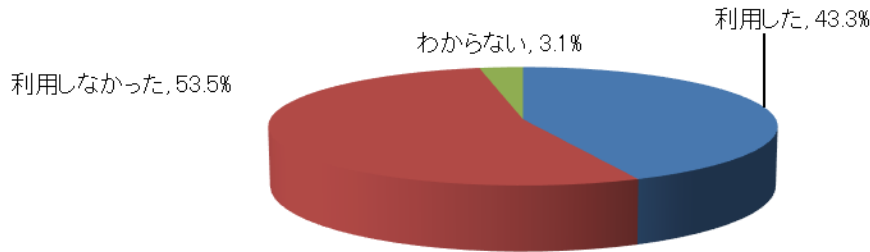
積極的に取り組んだ教科と同じ「算数」「国語」の学習に苦勞された方が多い結果となりました。基礎的な教科だからこそ、苦手を克服してしっかり理解するためにも繰り返しの学習が必要なのかもしれません。

質問6: 休校中の1日あたりの学習時間は？



「30分～1時間」「1時間～2時間」がそれぞれ3割を超える結果となり、1日2時間未満の学習時間との回答が合計で78%ほどを占めました。毎日学校で数時間学習していたことを考えると学習の遅れが気になってしまいますが、自宅で同じ時間・同じ質の学習をするのは難しく、自宅学習の悩みが浮き彫りとなります。

質問7: 休校中、Web上で無償公開されている教材や動画を利用しましたか？



Web上ではさまざまな子ども向け無償学習サービスが提供されていますが、そういった教材を「利用した」との回答が4割を超える結果に。学校の課題や、もともと利用している教材の学習量にもよりますが、休校中の自宅学習の一環としてWeb上のサービスを利用している方が増えている実態が明らかとなりました。

質問8: 休校中の自宅学習において、お子さまが意欲的に学習に取り組めるように工夫したことがあれば教えてください。

多かったのは以下のような回答でした。

回答数：13,342件

- ・ 学習環境を整える
- ・ 興味の持てる教材選び
- ・ ご褒美などの楽しみを用意する

その他にもさまざまな取り組みのコメントが多数挙がりましたので、いくつかご紹介します。

・ 家族全員で勉強の時間にした

・ 午前中に課題を終わらせたなら午後は好きなことをしても良いとした。

・ 庭でお友達と2人で「青空学校」と名して、学校の様に時間割を決め勉強をしました。放課、給食、掃除の時間も設け、掃除は道路のゴミ拾いや草むしりをしました。

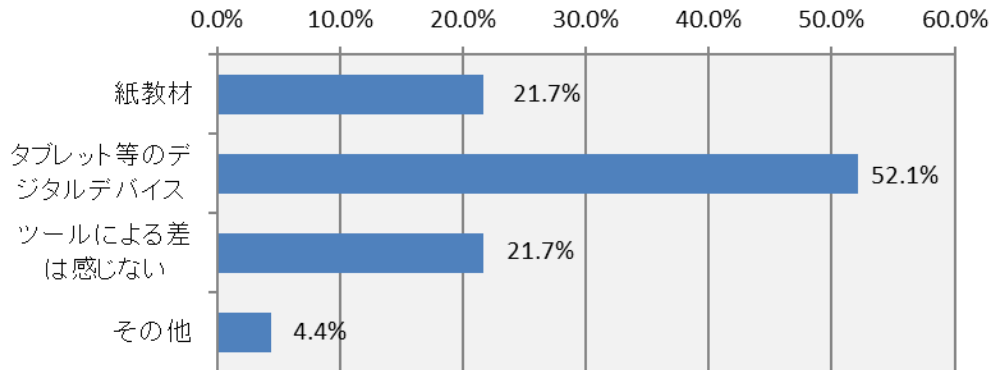
・ 時間帯を学校と同じように、休み時間や、20分休みなどをしたり、図工や、理科のめだかの観察などもした。

・ 出来た時は少し大げさなくらいに褒めるようにした。

・ 机に向かう勉強だけでなく、家庭科の授業と称して、一緒にホットケーキを作ったり、クッキーを焼いたり、チーズフォンデュを作る際には、包丁の使い方を教え、切ったり焼いたりも学習に取り込んだ事。

・ 迷路、しりとり、クロスワード等の好きな事を学習の間に挟み取り組んだ。

質問9: お子さまが校外学習で使用するツールとして魅力を感じるものは何ですか？



「タブレット等のデジタルデバイス」との回答が半数以上の結果に。質問2で、タブレット教材を休校中の学習に取り入れた方が24.1%との結果でしたが、魅力的に感じている方はその倍以上いらっしゃるようです。今後も自宅学習が重視される状況が続くようであれば、お子さまの興味を惹きつつ楽しみながら学べるタブレット等のデジタル機器を取り入れてみても良いかもしれません。

まとめ

アンケートの結果から、各ご家庭ではお子さまの自宅学習を有意義なものにしようと、さまざまな取り組みをされていることがわかりました。学習に対する姿勢や得意・不得意にはもちろん個人差があります。個人にあわせた環境をつくったり、興味を持てる教材を揃えたり、あるいは保護者様が手作りをしたり…二人三脚での自宅学習の様子が明らかとなりました。休校中は学校で先生から新しく学ぶことが難しい環境でしたが、裏を返せばご家庭で自分のペースで学習をすることができた期間だったかもしれません。

全国で一斉に休校となりましたが、そこに対する学校からの配布教材や、休校前から取り組んでいた教材の学習量などは、休校当初にはかなり差があった状況が考えられます。

そこで自宅学習の差を生まないためにも多方面から無償の学習サービスが提供されましたが、アンケートの結果これらを利用している方も多く、休校を機に今まで気になっていたweb教材やデジタルデバイスの教材を取り入れ始めた方も増えていることがわかりました。

世の中の状況から、今後も学校と自宅での学習、どちらも両立させていく必要がありそうです。

なんとか休校中の学習を乗り越えてきましたが、これから先長い目で見た自宅学習の環境を整えることが、お子さまの学習の遅れを取り戻したり、得意な部分を伸ばすことに繋がっていきそうですね。

学校の方針やお子さまの学習意欲と相談しながら、自宅学習をサポートしてくれる教材の導入を検討してみたいかがでしょうか。